

「CICA発酵液」を開発

美白・抗炎症効果

「コスモビューティー」ODM処方提案強化へ

化粧品OEMのコスモビューティー（大阪市、山添隆社長）は、独自の発酵技術を用いた新たな化粧品原料「CICA発酵液」を開発した。

ケア分野を中心に採用拡大を目指す。

CICA発酵液は、抗炎症やバリア機能強化で知られるCICA（ツボクサエキス）を、道成寺の境内から単離した同社保有の乳酸菌で発酵させたもの。同社では、乳酸菌の産出する有機酸や発酵による成分変化により、チロシナーゼ阻害作用による美白効果が期待できる「カフェ酸」が生成されたと推察した（図1参照）。

化粧品OEMのコスモビューティー（大阪市、山添隆社長）は、独自の発酵技術を用いた新たな化粧品原料「CICA発酵液」を開発した。

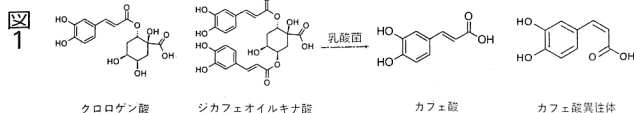
ケア分野を中心に採用拡大を目指す。

試験では、CICA発酵液が未発酵のツボクサエキスに比べ、チロシナーゼの活性を抑制する傾向が確認されたほか、図2で示される紫外線（UVB）照射によるメラノサイトの損傷や活性酸素種（ROS）発生の抑制にも効果を示した。さらに、炎症性サイトカインの発現抑制においても、発酵処理により効果の向上が示唆されている。

また、同原料は、「乳酸桿菌／ツボクサエキス発酵液」として化粧品表示名称の登録を完了。同社によれば、製造メーカーが取得した表示名称として日本初

の登録を完了。同社によれば、製造メーカーが取得した表示名称として日本初

CICAを含む成分を乳酸菌発酵すると、カフェ酸およびその異性体が得られたと考察・推定。



CICA発酵エキスによるUVB照射時の細胞生存率 Dunnett test ***p<0.001

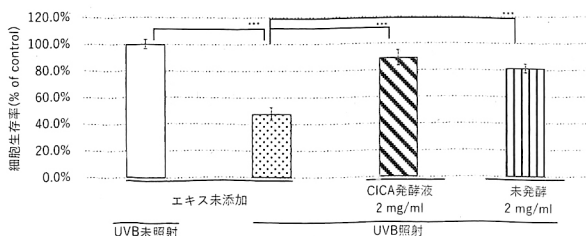


図2

事例になることから、配合製品には日本初の化粧品原料配合の表記が可能になる

という。植物由来成分のみで構成されていることも訴求点とし、今後、ナチュラ志向や敏感肌対応製品な

どへの活用を見込む。

コスモビューティーでは、原料開発を通じてODM提案力の強化を進めており、CICA発酵液を核とした新製品開発の支援体制を整えている。